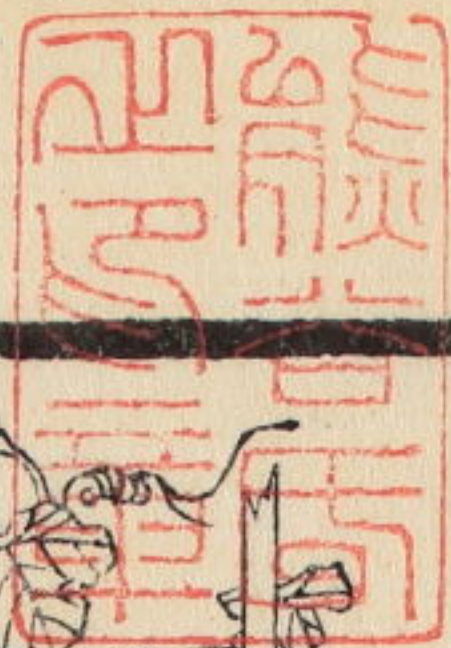


繪本豐臣勲功記

四編  
六

4 5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8



繪本豊臣勲功記四編卷之六

目錄

越前<sup>あまの</sup>噪動<sup>なりどろ</sup>一揆<sup>いっさい</sup>敵<sup>たか</sup>富田<sup>とみだ</sup>倚<sup>より</sup>

属<sup>のり</sup>信長<sup>のぶなが</sup>示<sup>し</sup>滅<sup>めつ</sup>

信長<sup>のぶなが</sup>上洛<sup>じやうらく</sup>使<sup>し</sup>河家<sup>かゑ</sup>人<sup>ひと</sup>叙<sup>じゆ</sup>爵<sup>しやく</sup>  
上

属<sup>のり</sup>再<sup>また</sup>攻<sup>かむ</sup>越<sup>こゑ</sup>前<sup>ぜん</sup>茶<sup>ちや</sup>

豊臣四編卷之六

秀吉謀陷河野繼嗣於津

屬 諸味落没

凶徒悉滅令越前貳柴田

屬 其國改事



繪本豊后勲功記四編卷之六

櫻澤堂山 編輯

越前喉動一揆敗富田倭屬信長示威

大樹を伐るふへ斧を須ひ草を折ふ種成用田各々當意あり。木下  
既に計儀を設けし。淺井濃倉を滅さふ隙をそれ伐伐する意の  
用天然中しくこれを扶く今又軍回孝高が使者たるもの奇あり。  
然ハ彈心忠信長ハ江越をさす平鎮一け多と今將猶も勢加小  
威を減さして窄城志ぬる。長清城の服於左系亮を攻伐屠一と大  
軍を費され同年九月廿四日。さびしく攻起るるといへども。防戦され  
まわすれを勿く落城まぐも見えぬ。遂小津陣陣河りておち同  
トく十月上洛すく。それより速水河川へ藪馬一着江の城に推進

らる。秀吉志をく誅せども。更んこれ汝を以て。遂に之好友。大天  
義徳を自殺せしむ。是義昭公汝外小款。是軍もみけを世に秘に  
く此歳も暮。天正二年の春。よるりぬ。然れども。越前一國の去。年朝  
倉滅亡。己辰。本下。後。吉。未。希。を。奉。主。君。へ。機。密。を。言。状。せ。り。由。是。則  
地。植。田。播。磨。を。守。護。代。と。して。是。れ。々。々。安。き。に。在。り。亮。浅  
忘。き。驕。奢。の。心。突。起。し。く。榮。輝。小。脱。り。酒。造。小。泥。之。朝。倉。の。一。族。の。系  
代。ま。ま。奴。僕。の。像。く。悔。能。は。これ。み。り。て。その。初。の。良。文。を。り。喜。も。罵。り  
惜。む。事。多。し。中。に。然。る。府。中。の。城。主。富。田。孫。六。希。長。郷。八。鐵。田。小。お。いて  
忠。を。論。せ。る。信。俊。希。波。の。小。侍。者。お。な。れ。と。植。田。い。く。か。既。客。の。切。あ。る。後。も  
て。斯。の。如。く。い。ふ。不。達。國。中。に。政。事。を。志。さ。る。ふ。り。頑。く。不。快。ふ。お。り。い  
と。信。長。の。命。り。し。は。不。道。な。く。悔。念。お。も。り。も。下。禱。を。受。然。る。不。近。來

信俊が放逸驕奢の奉止浅憤くありたる機會。徳意ある事。出来  
れり。その不備いかにと尋る。富田孫六希。長。一。族。毛。若。猪。之。助。去。年。九。月  
信。長。の。御。供。を。して。長。治。小。出。我。中。退。治。の。戦。ひ。小。之。頼。の。播。せ。り。也。  
も。恩。賞。の。沙。汰。も。お。り。し。く。富。田。此。事。以。不。快。ふ。お。り。し。遠。達。我。切。恩  
賞。減。ま。り。し。奉。く。得。さ。せん。と。植。田。り。く。祈。る。信。俊。岐。阜。一。冬。候。か  
却。て。又。く。言。状。せ。り。く。富。田。孫。六。希。長。毛。若。猪。之。助。侮。我。意。小。は。の。り  
て。賞。を。貪。る。不。忠。の。軍。八。不。領。を。減。し。去。る。べ。し。と。ま。う。せ。り。信。長。こ  
こ。越。前。一。國。一。諸。事。三。奉。行。と。相。候。して。執。料。ら。ふ。處。に。命。せ。り。信。俊  
これ。汝。領。掌。して。越。前。一。歸。り。々。々。惣。地。眼。痛。小。悩。され。療。養。遣。は。れ  
盲。と。ある。實。に。恐。し。や。重。恩。の。主。君。小。背。き。天。將。お。ん。ぬ。然。る。富。田  
孫。六。希。八。信。俊。後。遣。一。冬。上。り。て。信。長。へ。言。状。せ。り。信。俊。い。づ。く。り。か。所

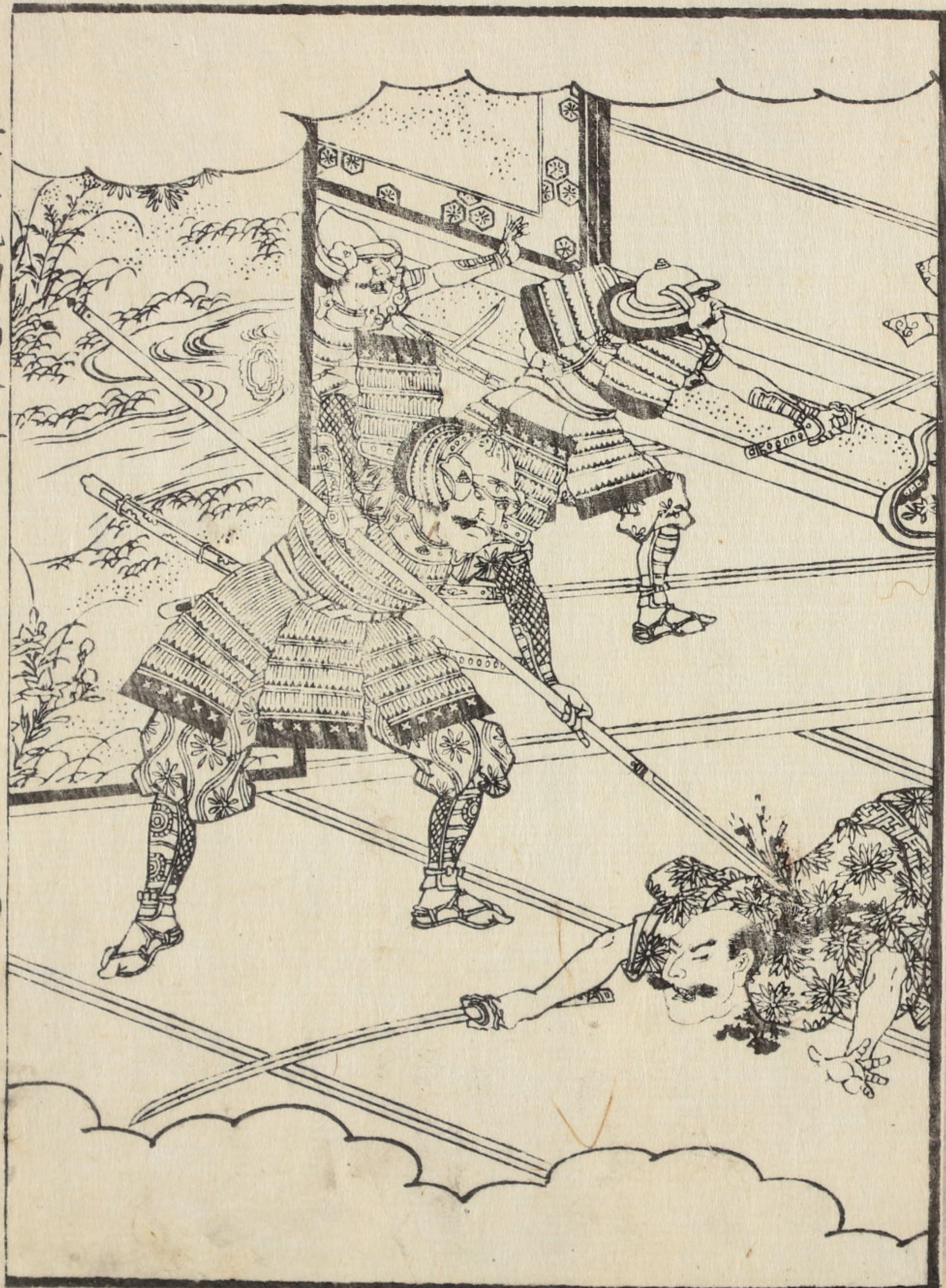
出けん。毛若指之助を推挙へるを却く俺們が一族を誅言せしこと  
 禱懐あはせ桂田をたぬふ誅害せしれ。使小舟旗損さんなり。信濃河野等て  
 恨をくし。我前二圍を撲滅せんと毛若指井を初擧る。或ハ河野氏  
 を欺隨(同年の正月十八日)一系若小推進て三日が陸夜も休まは烈  
 火の傍く攻着たれ。桂田信俊防戦落し終小畠田に敗れたり  
 妻子從類一個も剩さば食悉く積殺しいで遠別川の底ある。之を  
 仍成も撃投屋しとく。同く廿一日小大勢一時小北の庄を攻着たり  
 織田家の奉引明智十玄滿本下助右衛門津田九郎次郎。先達て遠  
 坂を波阜城へ注伸せし。織田取所しめされ。然こそわらぬと笑え  
 せぬ。之を仍に事成りぬ。速小退去を急ぎし。命屬られぬ  
 ふより。二人退去の准儀をゆい。かどをも漢を一擧奪。二百餘人推進

て稻麻茂長の傍く小圍む。遠城中小ハ兵士僅五百餘人。浩る大款  
 を拒抗す。准儀もふり事をも食悉く。驚怖まきり。何りたるを。光秀一  
 行成之矢介。明智深平次光春をり。敵の陣中へ使節をさしめ  
 富田毛谷倣小対面し。稟し出る言路ハ各宕意あるふりて。桂  
 田信俊を敵と事。武門のありし智むる條あり。然る小遠城を提相  
 俺們を敵人とせしむる。甚以て其意を清儀事。此發を考る。各とく  
 も。事より別報の怨もふ。當城ハ是知る事。從兵僅五百は是  
 らく。防戦を急ぎ。方術もふ。各桂田を敵たる旨。頭余小告知  
 され。之奉引退去河邊と命。敵りぬ。あはれ。美義あり。退き帰る  
 あり。原素當團ハ三子都く。新倉代々の回願にて。各出生の産地を  
 去。信長他人を交へる。新倉一家の諸士。小一圍の地を分与す

豊臣評伝 卷之六

桂田信俊  
盲瞽と称す  
増田毛谷

等々  
誅せ



僅三人の俺們も五百の兵士成道するの事。それと義宗の代ふする。改道舊例を革めざる。舊の人なり。旧地を平穏あさむ。深慮に。孰もたうざる。比ね念家の人の。このく國賊。ちち民を怒育る。まぶらん。信長もふち當人。國賊揚る。おがく。ゆゑ徳田家の武士をさう。直れば。桂田を借小統させし。然るに信俊放棄す。政道整へ。うづるの事。盲目れ身とあり。つまを。退日守護代を革む。預く。内意のあり。ついで。あつて。徳勅せし。も。是桂田を罪おれ。れをあり。然るに。今又俺們ま。政教ひを。信長何と。捨す。攻進ら。ま。ん。必。定。あり。義宗。以。く。ま。を。防。ぎ。得。べ。い。う。小。各。勇。猛。に。も。せ。よ。徳田。小。統。一。て。務。得。べ。か。ら。ん。俺。們。は。阜。一。を。降。り。遠。速。桂。田。の。政。れ。ら。成。ま。す。小。言。狀。い。う。を。貴。い。あ。る。こ。も。時。の。あ。ら。う。人。遺。恨。な。ら。ん。俺。們

を。政。殺。し。て。大。將。の。所。怒。成。後。出。し。自。滅。を。招。ぎ。お。え。ん。う。我。若。一。回。の。主。と。あり。く。徳。田。の。旗。下。に。属。し。ゆ。え。ん。是。万。金。の。計。議。小。河。ら。び。や。いま。ご。合。戦。お。及。ぶ。ま。る。う。ら。よ。く。遠。慮。成。め。ら。る。れ。を。理。の。あ。ら。し。ひ。を。先。春。お。返。答。し。く。い。ひ。ら。り。や。り。命。敵。う。理。解。の。お。も。む。き。最。も。極。小。存。じ。る。あり。俺。們。身。附。小。軍。成。收。め。各。隊。を。事。に。ゆ。え。ん。然。る。人。當。國。の。事。成。て。俺。們。小。任。さ。る。ま。さ。か。う。信。長。一。ま。に。推。奉。し。ぬ。と。意。言。て。先。春。成。降。ら。し。ぬ。時。小。政。略。を。成。り。退。き。人。質。ま。さ。成。城。中。小。送。り。先。秀。大。小。統。等。も。都。て。心。算。し。て。國。賊。あ。ら。ん。これ。を。速。速。馳。率。們。一。個。も。換。ふ。ん。で。難。ふ。小。政。阜。一。降。着。る。我。若。強。勁。の。始。終。を。信。長。の。所。聞。小。達。せ。し。ま。大。將。殊。小。感。況。あり。先。秀。の。智。計。成。考。せ。し。れ。猶。捨。置。て

十分小同士殿さそんと謀らるる。誠希小の富田塔井。毛谷の倫業。信長の返答いふわらん。と待どもあんの河津もあし。備の明智候ふ。欺まし。新ありう人の織田入魂將依せる。魚住候希を改殺さんと。使者改りし。欺出。石村の山中。石村は足利殿。おこ是張り殺し。後山小居城ありたる。景鏡又子代勅力とあるこれによりて國中に敵討さる軍ありし。富田候今の心の隨ふ放逸強者を討ひたる。然るに加刺。誠希の御氏さそく一向宗あり。高田寺修寺。石山本願寺の門徒あり。戦國のあしひかれを。北年の軍の武術を知ぬるに。が由。お。船倉家滅亡。誠憤。その長として。君侯賣。今又誠希を。改政さるること。忍ぶ。小。堪。比。と。景。鏡。為。橋。ら。ひ。二。十。五。万。の。一。揆。業。長。傍。河。合。攻。隔。し。長。傍。に。八。馬。田。五。七。帯。の。合。小。分。分。部。和。家。中。地。主。たり。序。山。へ。攻。着。て。六。塔。井。基。内。と。殿。控。る。その。勢。

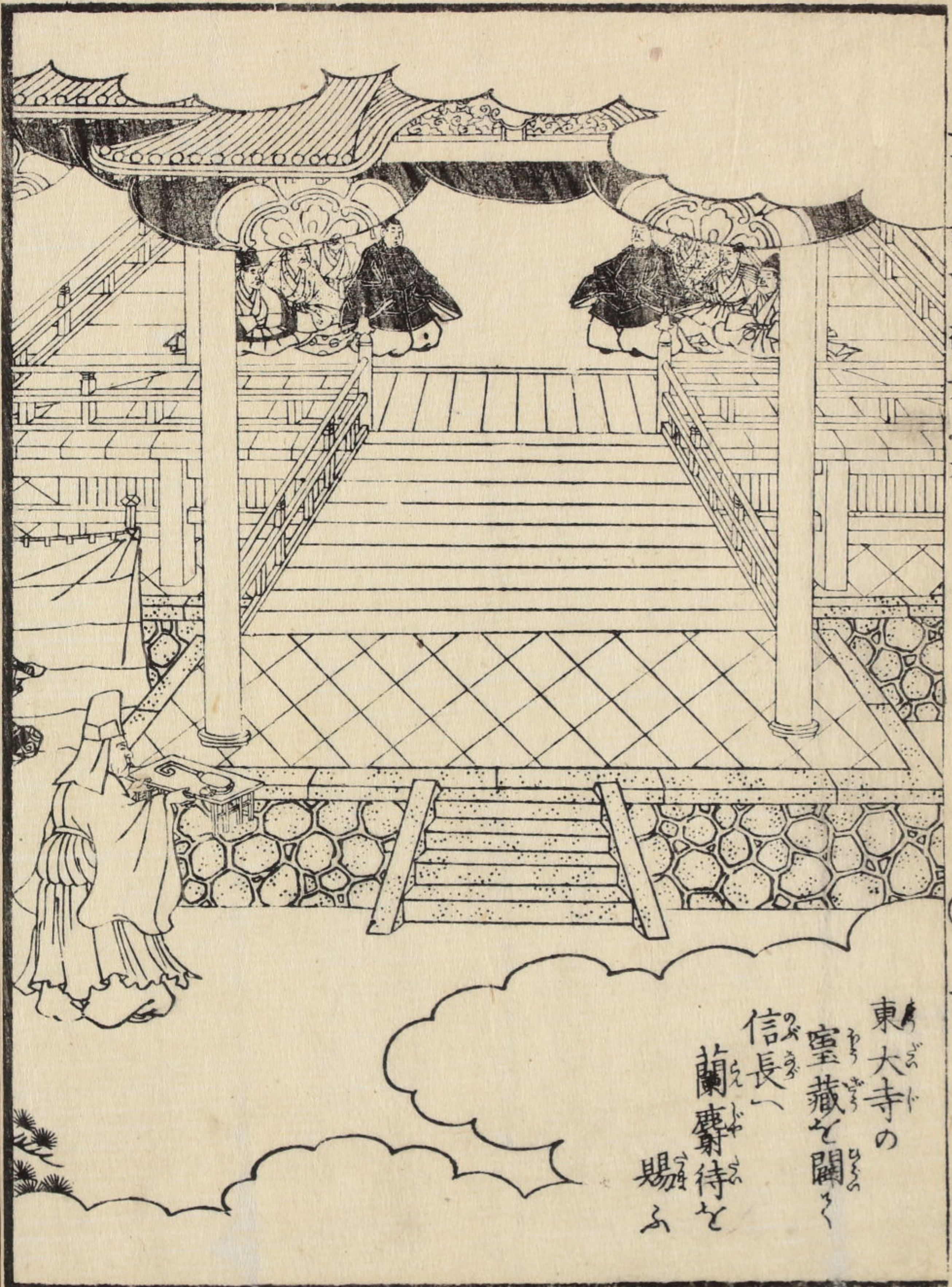
威破竹。北。像。北。の。産。小。礼。入。り。毛。谷。精。之。助。三。年。の。運。退。の。張。中。富。田。孫。六。希。を。依。代。せ。ん。と。傍。着。る。一。揆。業。總。勢。二。十。六。万。餘。人。者。中。の。城。小。推。農。あり。曰。南。八。面。小。推。提。綱。之。微。塵。に。か。さん。と。播。ん。ど。り。し。如。也。富。田。孫。六。希。勇。猛。な。れ。ど。も。腹。心。と。さ。さ。き。毛。谷。塔。井。既。小。滅。亡。し。う。今。の。救。助。の。力。も。功。で。無。く。と。念。決。め。終。お。打。殺。戦。死。し。たり。去。橋。景。鏡。朝。倉。を。保。ま。す。と。橋。と。年。長。は。残。り。し。る。これ。を。も。斬。殺。さ。さ。せ。り。中。に。孫。山。小。推。進。たり。が。景。鏡。の。ち。を。中。に。味。を。逃。出。平。泉。寺。に。奔。投。し。寺。中。に。懸。居。たり。し。一。揆。們。遂。小。所。出。し。寺。小。大。儀。う。け。一。時。小。接。紀。々。小。より。拒。抗。煙。で。一。山。の。衆。院。さ。か。こ。と。く。放。走。し。た。れ。景。鏡。も。殺。代。せ。ら。ま。ぬ。今。の。誠。希。小。欺。あり。と。く。河。津。の。地。小。礼。入。せ。ん。と。本。房。嶺。小。推。進。た。れ。信。長。これ。改。所。有。為。が。征。伐。さ。さ。さ。り。と。本。下。か。方。へ。回。せ。由。秀。長。



改阜一冬向し。いまご征伐の時。其折潤一擧るれども。務者て  
勢威壯あり。れ。将率心一致し。防ぐに由。我ふも。其指揮を  
与ふ。加之多勢に。容易に征伐あり。か。これ。ね。并。並。日。ふ  
登。然。る。胸。入。去。臣。事。心。柔。く。守。護。人。候。と。事。務。を。記。し。其。時  
征伐あり。人。秀。右。小。右。あ。わ。る。う。ち。一。擧。百。万。記。る。も。江。門。一。札。坊。の  
あ。さ。せ。有。り。沖。心。寧。く。お。不。さ。れ。よ。と。勇。く。然。る。條。新。の。洞。小。信。長。安  
途。ま。し。く。其。衆。周。さ。り。ひ。る。が。同。六。月。流。布。本。に。二。月。一。折。り。六。と。二。事。重。書。後。ま。く。これ。あり。十。六。日。改  
阜。と。沖。心。寧。く。お。不。さ。れ。よ。と。勇。く。然。る。條。新。の。洞。小。信。長。安  
これ。これ。ら。の。事。大。本。下。に。信。せ。り。由。し。並。ふ。上。流。ま。し。く。て。冬。内。を。逆。ける  
に。同。十。八。日。勅。使。あ。り。て。信。長。を。從。之。位。小。叙。し。冬。藏。小。任。せ。り。公。家  
我。家。倍。ふ。冬。藏。せ。り。別。才。遠。首。尾。の。次。取。を。り。ゆ。く。年。暮。密。小

蘭奢侍  
の。下。に。在。り。  
黄。髪。と  
名。づ。く。春  
木。の。重。侍  
三。母。目。二。百  
五十。目。あり  
大。寺。小  
らん。お。お。た  
いの。あ。り。あ  
謂。の。蘭。の  
は。な。な。春  
の。字。の。大。  
侍。の。字。の  
手。は。字。の。後  
か。て。て。大  
ち。と。是。は。と  
ふ。も。是。は。と  
義。政。公。の  
孫。也。の。い  
あり

懇望ある南都東大寺の蘭奢侍を拜領のこと領出らきて。同女  
二日葵申せし。小。忽。地。勅。許。下。され。女。六。日。勅。使。と。し。て。日。野。大。納  
言。輝。資。卿。菟。毛。井。中。納。言。雅。教。卿。南。都。一。下。向。り。せ。り。諸。侯  
長。八。多。門。の。城。に。沖。心。寧。有。る。女。八。日。辰。の上。刻。東。大。寺。の。寶。庫。を  
開。け。せ。たり。當。胸。列。檢。奉。行。小。依。久。回。右。衛。門。尉。管。谷。九。右。衛。門。將。登。玄  
庫。頭。瑞。九。右。衛。門。竹。井。夕。庵。松。井。友。閑。東。大。寺。の。記。に。同。て。人。名。を。改。む。の。六。個。あり。然  
る。に。新。條。の。名。番。八。長。さ。六。尺。の。九。重。篁。小。綾。屋。を。纏。ふ。く。秘。藏。たり。  
ま。る。と。も。信。長。一。張。し。て。將。軍。家。の。舊。例。ふ。ま。う。せ。一。寸。八。分。を。取。取。ら。ひ。  
殘。る。所。ハ。返。納。ある。信。長。これ。を。二。小。頭。ち。一。戎。市。自。分。小。收。拾。ら。し。其。二  
七。を。居。家。候。小。各。分。取。ら。る。遠。一。段。を。傳。所。東。西。遠。邦。の。大。小。度。裁  
ハ。美。子。或。ハ。忍。也。い。よ。く。織。田。家。に。属。せん。傳。を。お。り。小。族。も。多。り。り。る。



東大寺の  
室藏を關する  
信長へ  
蘭麝待を  
賜ふ



信長の密意もるにありて。威を示さんとの政令とを然かど不系  
都の沖謝等勤め早り。次順ありとて大坂小出馬。石山を攻られ  
けり。急小破る。淺瀆も子けき。天王寺の屬城小守兵被さびし  
く入道也。佐久間信盛。其系波阜一河内城ありしが。今、諸勢もそ固合  
れととく。教奉の怨敵長治を。征伐さること。七月より九月まで四十  
餘日がその際。遠信小在陣あり。遂小一揆門石山門洗。愈愈く  
誅戮せしむ。一揆の勢も別うけき。自軍數百人。死せり。然も  
信長年来の聲憤。敢てわひぬとく。殺て安達ありせられ。苗圃  
の政事を令流され。長鴻の城小勢水の地を落らる。これを瀧川一  
益小湯里。十月十五日諸軍被收め。波阜一河内城あり。今當  
年もいつく。候く。天正三年二月下旬。信長河内上洛せられ。大相

園寺に河内河守あり。茲も今川氏直の先年武田に園を奪られ。織  
田と信長をわたりしが。遠信信長の上洛を所。可覚得し。物を奉人  
と縁を求る。対面し。青物とて。百端帆といふ物。花活小今川  
家の重寶。宗祇遺愛の名。表たる。子香の香爐を運進。以。宗祇法  
七月。信長河内河守。河内河守。以。香爐を。天正を。双の名。表に。て。志。を。奉  
持。あり。お。な。れ。を。信。長。と。お。な。ら。し。め。飲。状。せ。し。め。殊。小。秘。藏。に。お。せ。ら。る。然。も  
に。氏。直。少。時。より。靴。鞠。の。技。小。達。せ。し。り。其。風。剛。多。を。た。れ。を。これ。を。不  
定。河。る。ふ。より。三月。廿。日。相。園。寺。小。お。い。え。靴。鞠。の。事。を。傳。せ。り。遠。信。に  
堪。能。河。る。諸。事。達。も。群。聚。し。て。見。督。あり。氏。直。詭。譎。ある。装。し  
て。數。千。の。見。督。小。控。も。せ。び。より。あり。の。声。聲。ら。ふ。小。數。刻。靴。鞠。を。と  
い。い。も。意。緩。き。低。法。被。案。さ。び。一。上。半。下。過。つ。律。あり。了。得。練。磨。以。諸

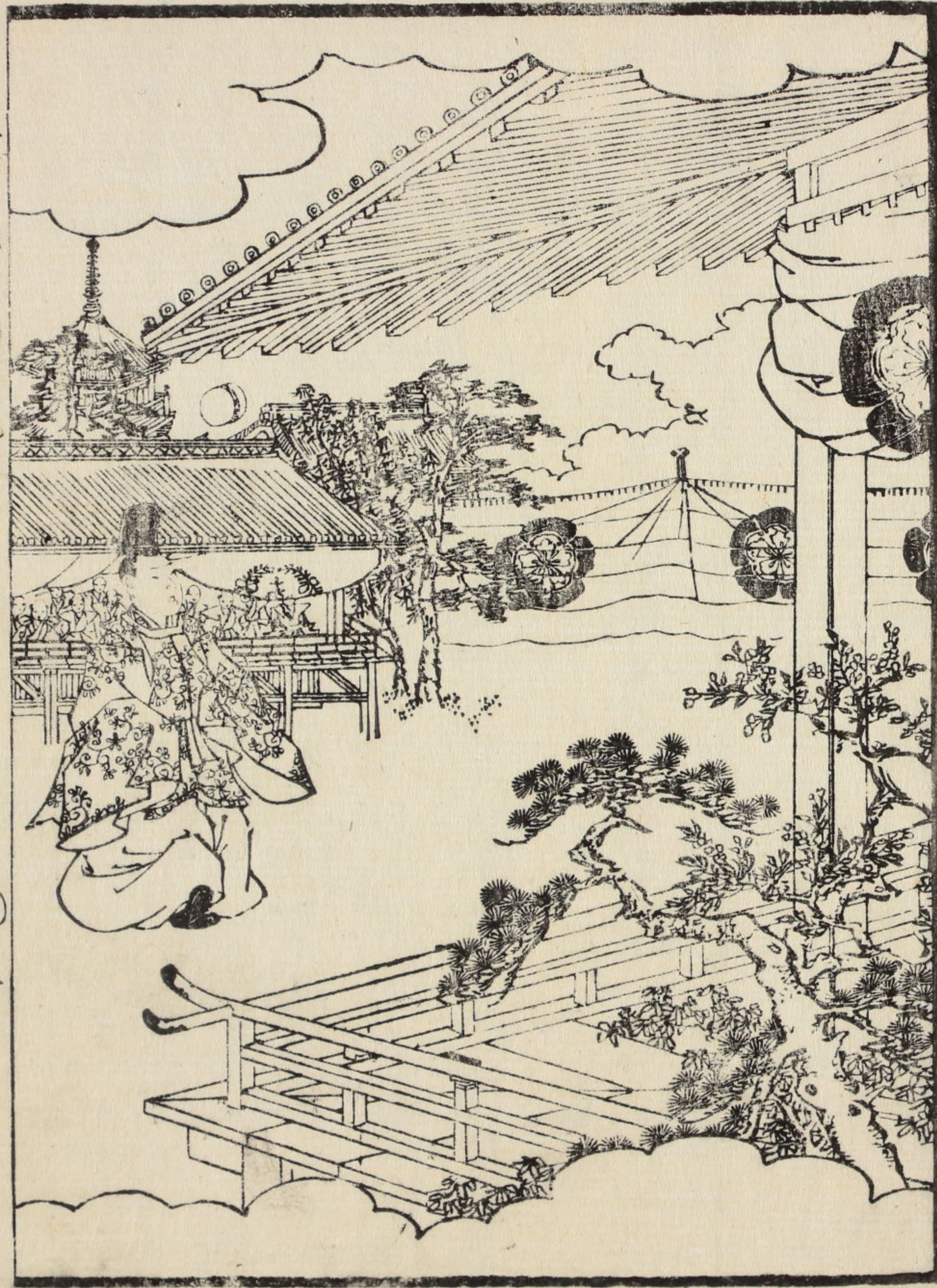
今川氏直

蹴鞠を巧みく

文武の衆を

驚感

せむ



公卿も膝を懸けて感愛せらる。中ふ武居の人々の情も相成り抱合て  
惜や那量に武術を練へ新寔とある事なり。武門の家に生れ  
るがら。兵書に疎く武術に拙く。我國小用多き技を堪能せし得  
給ふ能ある者なり。多きよ。嗚呼。不族も多かり。當天の遊場果々  
ふ。同月下旬。冬内ありて。嫡男勅九郎信忠を從五位下に叙し。出羽介  
に任せらる。然る所小治れ。加勢の清使着到來せし。翌。不日に清  
出馬ありし。之州境へ發向あり。

信長上洛使清家人叔齋馬再改號名

利の本。信小養圃ありし。帝此殿威斜あり。宜しく忠告せしむ  
る。之を勅使せし。おのるに。諸卿評議す。官位昇  
進のこと。俄令せられども。信長く。釋退あり。然るが。多幸切著れ  
長家。叔齋免許あり。之に思投く。預ひし。登速津免許あり  
小より。信長大。欽喜せし。中。最願に。本下。友希。秀吉を  
荒茶。信小任せし。明智。十。去。清。光。秀。を。日向。守。に。任。せ。し。を。氏。を。惟  
任。小。改。む。丹。羽。を。希。友。希。の。長。秀。改。惟。任。小。改。氏。せ。し。れ。攝。九。郎。信。忠。門  
長。俊。を。備。中。守。に。任。せ。し。せ。氏。を。原。田。と。改。ら。る。築。田。友。希。の。希。友。を。平  
次。右。近。と。改。名。を。せ。たり。これ。の。遠。謀。ハ。願。て。し。九。州。まで。も。改。西。と  
ん。お。り。あり。ある。成。り。し。天。下。一。統。あり。し。人。ハ。遠。家。を。結。西。の。領。主。たり

信長上洛  
書名に  
依りし  
五郎丸  
五郎丸  
の事姓と  
ぞいふ

志乃人、清月意小く、斯の如く命せられたり。惟任、惟任系、同平次の姓、字たる者、此後、  
 領主とあり、將亦、本下秀吉に、羽柴の氏を揚人ね、は、田丹羽の備室、斯の如く  
 清家人の、叙爵の儀式相成り。志乃、多く在系、す、ま、は、う、ち、西園寺  
 の大小度、お、わ、く、上、洛、して、信長、小、謁、一、勤、力、を、通、した、り、た、る、が、中、に  
 小寺政藏の、先、奉、儀、回、家、と、合、辭、せ、し、也、今、夜、も、系、都、へ、奉、儀、  
 せ、ら、ふ、赤松の家督、孫、孫、之、希、範、房、村、上、源、氏、小、寺、氏、付、ひ、信、長、に、謁、し、  
 清將佐の、旨、言、状、に、其、外、別、所、孫、右、衛、門、重、保、傳、奉、儀、一、た、れ、ば、  
 信長、懇、切、小、謁、せ、ら、し、ら、る、各、こ、れ、に、帰、報、せ、し、感、收、し、て、帰、せ、ら、る、  
 其、後、系、都、の、政、事、等、措、失、な、く、令、属、ら、る、と、清、將、團、の、道、條、  
 江、川、瀬、田、小、つ、と、せ、ら、る、長、橋、双、方、松、整、と、な、む、の、山、屋、兵、衛、門、本、村、  
 治、兵、衛、門、傳、小、令、せ、ら、る、因、り、七、月、十、七、日、彼、阜、へ、清、將、城、ま、し、と、る、

意小、小、園、藏、前、八、先、年、一、揆、始、起、し、て、今、ハ、本、願、寺、の、不、得、と、な、り、て、領、  
 せ、し、ら、る、揚、州、より、も、護、代、を、居、團、中、の、政、事、決、執、行、ひ、姑、く、靜、邊、と、  
 たる、の、不、小、一、揆、の、事、今、ハ、又、令、銀、殿、室、を、廢、置、ま、で、得、ら、る、と、な、り、  
 成、り、た、る、由、系、團、法、不、隨、と、い、ひ、我、意、の、不、為、の、多、切、り、な、る、を、守、護、  
 代、これ、を、咎、れ、ども、些、微、も、制、し、て、用、ひ、ば、こ、そ、恐、び、發、動、を、懼、し、たり、時、  
 來、れ、り、と、羽、柴、秀、吉、發、し、彼、阜、へ、渡、伸、る、に、信、長、に、も、遠、事、を、傳、へ、  
 中、小、機、會、な、れ、と、清、將、喜、お、わ、り、と、あ、ら、び、し、て、速、小、陣、洩、ま、し、と、同、年、  
 八、月、十、二、日、彼、阜、の、嶽、を、奮、發、せ、ら、る、ま、づ、先、陣、の、門、ハ、惟、任、日、向、守、亮、  
 秀、柴、田、修、理、之、進、勝、家、惟、任、も、亦、左、衛、門、長、秀、羽、柴、范、前、も、秀、吉、長、  
 景、長、初、大、輔、藤、孝、依、り、肉、着、助、成、政、系、田、中、も、長、橋、戶、次、右、近、政、原、  
 義、本、橋、津、守、村、重、保、其、勢、三、万、六、千、餘、勝、此、の、信、長、の、清、將、本、願、寺、

△坂井勢  
△酒と

作徳入道一徹又子三人。澁川左衛門將監一益池田信之守信輝同嫡  
子信九郎信之。茶田又左衛門利家輝在兵庫頭頼隆。安房作徳も不  
破河内守俊。十万余騎。後陣八木昌信雄。神戶信孝。織田七左衛門信澄一  
万余人。まつ若狭より来れり。栗屋城守。熊谷大膳。山形下野守。白  
井氏親。近松官玄。葛元。同左馬助。寺井源左衛門。香川右衛門。大矢俊八  
千餘騎に之加勢をせし。其勢都合十二万八千餘騎。中亦丹波の  
將將依に一色左衛門大義定。八百艘の兵船にうち系城茶山浦へ  
推進て。諸方とせ放火あり。遠時城茶の守護代。下妻筑後佐橋。此  
より浅所て大小將に。郷民軍に指揮せし。これを防ぐんとせといへど  
も。一揆們指揮小随。大織田の大軍小恐怖して。金山林小逃。縣を  
都ていあしと評定あり。隊換小よりて。大難危ありんに。あつあつ勢

小く拒抗。一とて。虎杖の城小。凝守たり。下妻和泉守。久米の懸見  
寺。宇坂の平向寺。俊。二子餘人を率いて。本芽嶺を執切たり。和国中  
覺寺。石田の西光寺。二千餘人。越山小出。渡る。神伏の城。此要産小  
ハ。伏浦壹枝。二千餘人。今庄にハ。守護代たる。下妻筑後。後。清の起  
懸寺。若河の奥行寺。四千餘騎。府中。此城にハ。三宅指之。一十餘人  
中の。河内小。七里。之。河守。八百餘騎。河野の城。小。若林長門守。子息  
新又市。安井。石橋。門。村。稻村。治。右。夫。俊。二子餘。伏津。口。に。ハ。大。塔。の。圓。光。寺。  
坂井。右。書。山。村。右。邊。又。十。七。井。瀬。右。邊。門。俊。これ。小。ハ。一。揆。野。武。士。も。混。し  
て。軍。人。首。領。酒。江。中。務。近。系。忠。神。波。七。左。衛。門。之。國。系。女。俊。加。り。て。其。勢  
初。合。子。餘。人。餘。小。大。切。の。殺。不。あり。と。令。を。縣。と。相。守。れ。り。然。不。と  
に。織。田。家。の。大。軍。同。と。く。八。月。十。二。日。敦。賀。境。小。着。陣。に。大。將。信。長。ハ。都。を

豊臣記の編纂

なる。氏孫宗右衛門の館入河内守。備勢の敷質に在りて。江州松津飯  
 浦まで連くと陣隙をあはせし。屯泊したるが。十二万餘の大軍を以て殺氣  
 凛くと沖頭をく。極威天魔も控えん。勢ひ怖く。そぞろえし。ける。這  
 駒柴田孫家ハ。いづきありとも一揆衆の。法さ方一向えんと。疎疎を窺ひ  
 試みる。而に松津口こそ大切の要産なれと。款にも多勢を調をたき  
 ち。羽柴秀吉もや既小。池向ふく。望まざる代。孫家听て。この攻口を  
 筑前守に奪えし。と強き是を不望し。たり。信長是を听し。めり。  
 松津にハ大款なれ。秀吉既小望えたり。依て羽柴と敵勢は。改ら  
 る。備えし。望ひたり。代。孫家慎で奉听。多寡の報れ。る。房主  
 衆。敵方堅守いとも。那意の事。う。ゆ。ふ。小長一隊の勢を。り。り。  
 攻陥さんこと。軍令を立て。誓ふ。つ。れ。を。万。一。小。長。一。隊。の。勢。一。令。属

ら。是を。る。と。と。詞。を。使。し。て。向。ま。ふ。ど。秀。吉。侍。り。進。出。柴。田。孫  
 の。勇。猛。ハ。今。更。論。ぶ。る。不。あ。る。秘。一。隊。を。り。り。足。ね。慮。れ。ど。遠。城。の  
 落。去。隙。より。て。自。軍。の。備。勢。欲。固。一。札。入。する。事。あり。が。し。松。津。河  
 野。の。兩。城。を。領。小。落。陥。あ。し。め。を。本。芽。辨。伏。する。の。防。禦。案。ハ。攻。撃。ど  
 して。落。去。ま。ふ。若。又。松。津。の。攻。口。に。陣。隔。あり。て。ある。駒。ハ。諸。城。防。禦。案。の  
 准。備。整。ひ。容。易。に。落。去。る。が。し。是。下。一。隊。の。兵。士。を。の。我。方。あ。さ  
 せ。ぬ。ん。より。加。勢。を。り。り。速。小。攻。陥。を。こ。簡。要。あり。め。と。理。を。仇。ぬ  
 ま。が。も。更。に。用。わ。れ。九。款。城。を。攻。る。の。道。ハ。多。勢。あり。と。一。回。小。提。蒐。る  
 べき。事。あり。小。勢。あり。とも。心。合。り。切。陣。隔。こと。あり。ある。場。て。や。一。族  
 五千。あり。是。小。勢。とい。ふ。處。あり。一。刻。攻。ふ。ハ。加。勢。も。無。量。と。頻。小。望。し  
 たり。ふ。より。信。長。是。非。あり。柴。田。一。隊。に。松。津。の。撃。兵。を。任。せ。し。孫。家

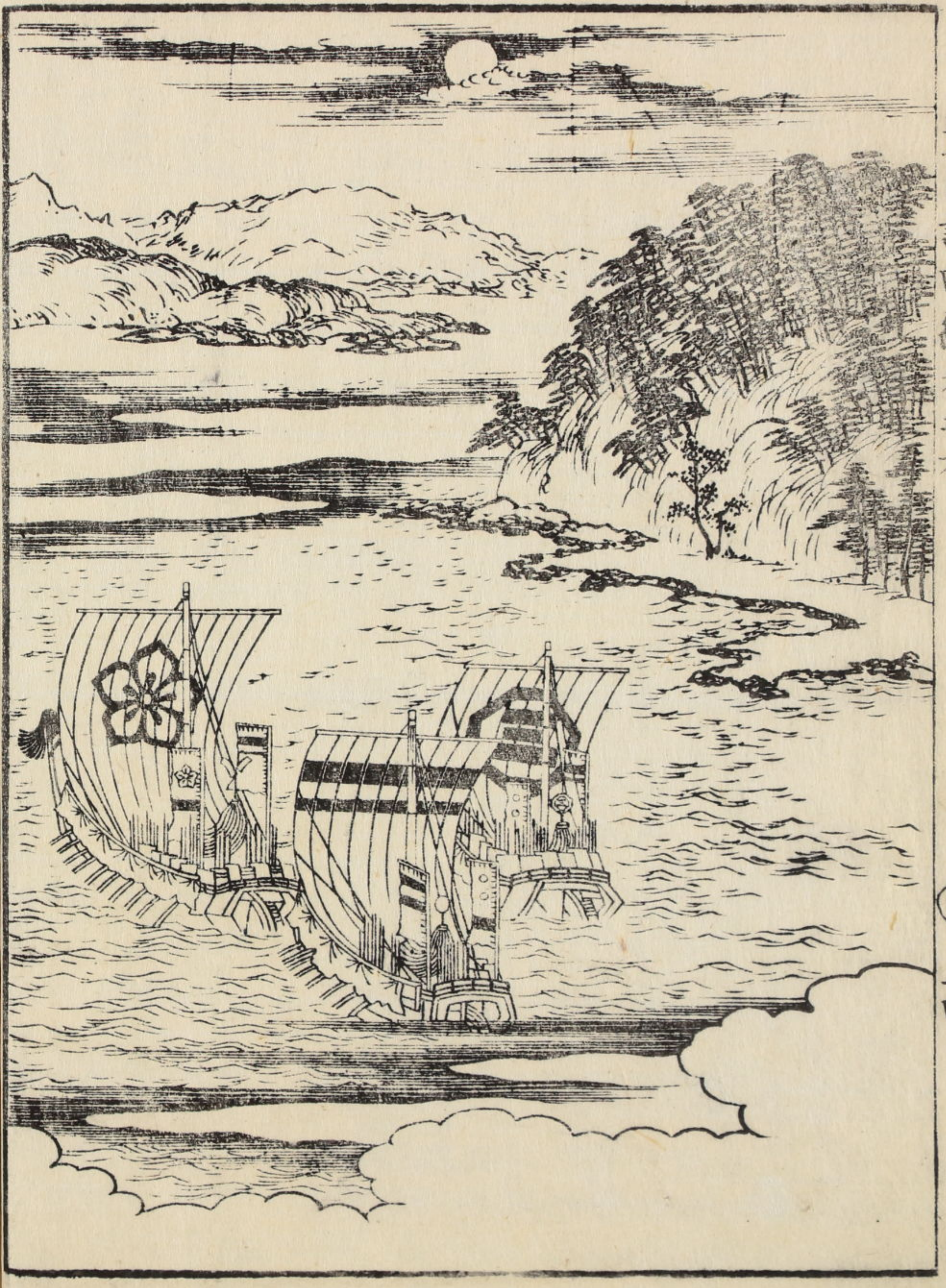


御前記



服小乗  
秀吉河野の  
城の  
推進

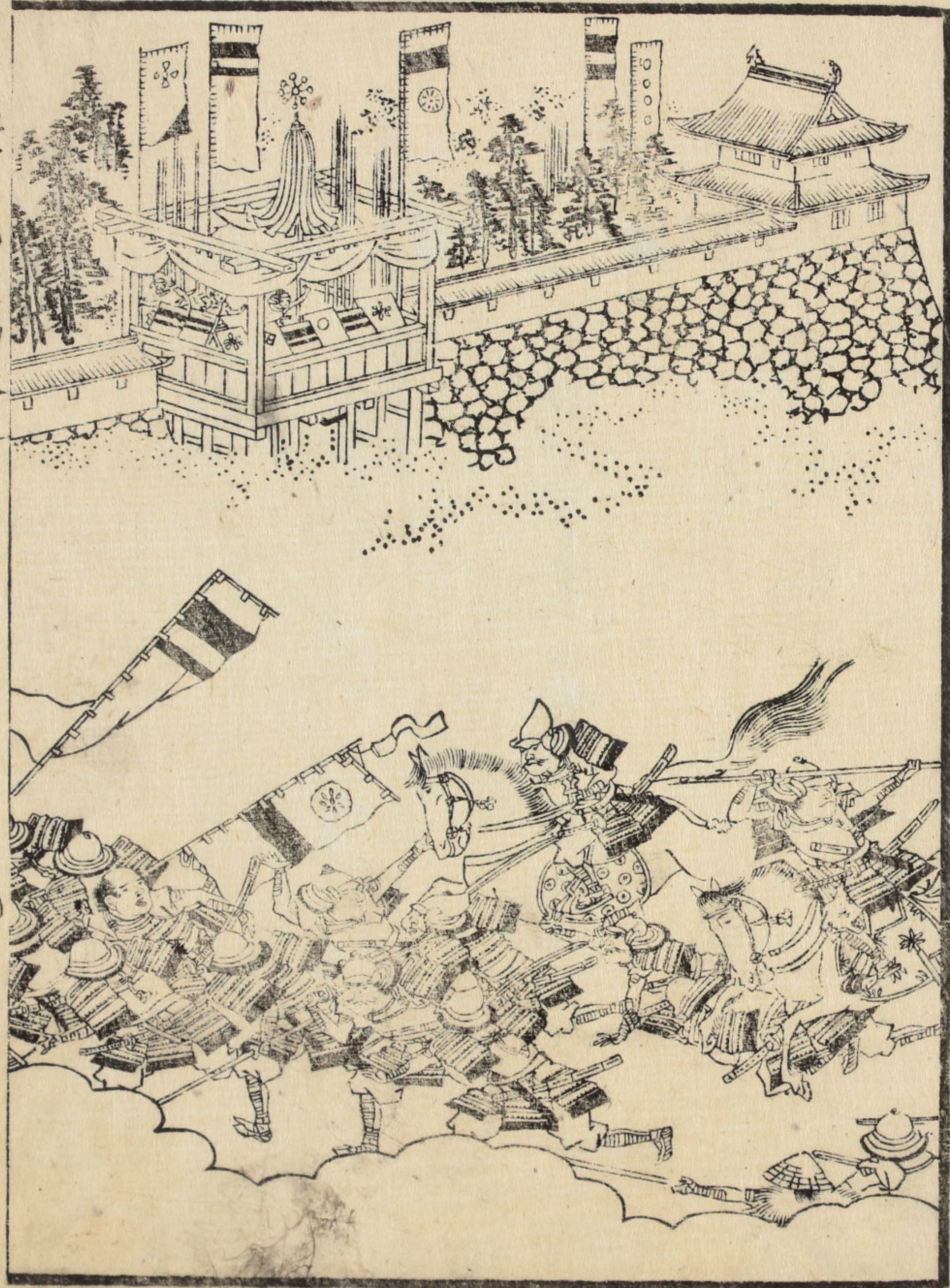
御前記



御前記

大小無獲之。當日に松津へ推進す。これ小従ふ門に。柴田官内少輔。同  
 修賀也。同修物。佐久間玄蕃。柴田源左衛門。徳山五左衛門。松江兵部。先受  
 猪助丹之。久八。同渡八中村。与方。海江。河野。安井。天近。海江。巨流  
 の運兵害。其勢。必多。有餘人。旋風の像。撃殺多。然る小當火八朝  
 り。大面頬に降出て。暮ふか。よ。後。ひ。河。大。小。水。増。り。離。り。さ。る  
 者。多。り。備。年。羽。柴。秀。右。八。松。津。の。攻。口。柴。田。小。奪。ま。是。河。野。此。新。城  
 小向。と。人。と。さ。ま。ち。信。長。へ。言。状。せ。と。急。速。不。至。小。任。せ。さ。ひ。汝。も。一  
 隊の勢の。これ。向。つ。た。や。と。言。う。彼。然。バ。河。野。攻。へ。自。勢。の。これ。も  
 足。ぬ。べ。た。れ。ど。速。殺。他。取。一。改。蒐。ら。ん。と。候。よ。ろ。く。い。ま。す。諸。將。の。うち。せ。一  
 人。軍。令。せ。つ。け。ら。る。と。の。願。ひ。小。任。せ。と。明。智。日。向。守。光。秀。橋  
 本。修。權。入。道。同。嫡。子。右。兵。衛。亮。山。崎。源。左。衛。門。海。江。村。柴。流。茶。右。小。相

副ら。十四日。夜。未。過。り。殺。百。餘。の。船。を。推。記。殺。賀。の。背。海。を。費。涉  
 以。晝。の。うち。大。風。多。く。往。來。難。危。あり。しか。ども。亥。の。頃。より。大。晴。滿。望。  
 増。て。也。十。四。日。の。夜。の。こ。と。を。れ。を。月。皎。々。と。海。波。は。照。して。金。を。響。ら。ひ。傍。  
 く。あり。不。見。の。晝。より。明。か。れ。バ。兵。士。侮。い。て。か。獲。ま。さ。ら。ん。木。雲。園。う。こ  
 ろ。ゆ。ひ。に。河。野。の。浦。小。榊。着。り。然。れ。も。十。四。日。日。終。ま。風。烈。く。り。た。れ。を。  
 款。兵。大。小。園。彩。し。ける。が。進。ま。ハ。難。く。陰。小。流。下。新。誠。當。り。推。進。し。り  
 秀。右。謀。臨。河。野。他。臨。松。津。属。諸。城。落。没  
 虎。翼。と。持。ま。と。い。へ。ども。天。ふ。よ。ら。れ。偉。小。お。の。こ。い。ま。か。龍。小。既。置。ぶ。臣。人。や  
 然。バ。羽。柴。流。茶。右。ハ。惟。任。亮。秀。を。導。導。教。と。し。く。河。野。の。新。城。小。推。進。る。  
 遠。城。の。守。護。人。ハ。若。林。長。門。子。親。房。嫡。子。新。兵。衛。親。次。軍。場。功。者。の。勇。士  
 ら。れ。を。防。禦。の。准。佑。お。と。す。少。く。守。門。を。堅。め。く。相。漢。々。る。流。茶。右。秀。右



羽柴 筑前守 謀を 河野の 城を 攻陥す



八玉と川の謀計を先秀假小謀ト合せ又後心ある加友福鴻片相詮  
 尾。博漢實親子。脇坂假小も謀議を教つこれ成情地不埋伏さ。備又  
 予小一郎。中村孫助。後井又右衛門。青木勘兵衛。假小三百餘人の兵士成結  
 つつも郷民の打拾あく。紙旗幟と翻させ。偽旗よく謀合く。遠小讀  
 うり来りしむ。羽柴惟任福系。山侍一隊とありて二子餘騎河野の新城  
 に轟くと推進喊と鳴り。先秀と放寬。隊伍を乱して。單騎急に攻蒐るの  
 威を示し。待後たる長門也。さるも動せば兵士成懸まり。矢地成飛せ  
 く防我ひ。これふりて進兵へ故意と。先秀の音喊れ声の。山海小响  
 くをあり。城威を争て。城近く。進附ひ。防禦の矢石を怖る。懸る  
 目。若林新五郎。安井右衛門尉。傑氣の壯士ありけき。進兵の隊伍の  
 乱れたる成えく。撃て。散人と。繞るると。長門守制し。止め。堅固小防

新五郎。なる也。進兵い。攻倭く。官成ありて。橋縁のより。か。ろ。  
 城より異の方ふる。南を不可思議。先如東と書たる。紙の旗幟  
 成揚揚く。佛款の織回を段提を。と。金聲く。によたらり。を二を。こ。ふ  
 棚起く。六。織田勢。又。不。愕。噪。さ。い。い。く。隊。伍。を。乱。し。る。ふ。と。城。中。こ。れ  
 成。見。る。より。も。又。予。へ。郷。民。門。徒。の。者。報。恩。の。ため。ふ。今。遠。城。へ。後。援。を  
 る。は。と。か。が。え。り。遠。方。より。も。擊。殺。せ。り。力。成。勅。せ。て。防。ぐ。ん。び。と。新。五。郎  
 親。次。を。親。と。安。井。右。衛。門。尉。福。村。治。左。夫。を。い。り。備。雄。の。名。士。を。城。戸  
 成。開。ひ。て。突。費。け。き。を。長。門。也。も。一。揆。の。後。援。を。突。の。將。佐。と。か。り。ひ。り。六。  
 新。五。郎。成。殺。せ。り。と。同。と。く。城。を。打。て。殺。進。兵。の。魁。兵。へ。擊。て。蒐。る。科。葉。  
 惟。任。福。系。山。侍。ま。り。怖。懼。死。く。一。遮。も。せ。ば。敗。走。は。務。ふ。な。ら。る。城。兵  
 等。門。徒。一。揆。と。一。隊。ふ。あり。十。町。を。の。り。逃。蒐。け。る。が。親。房。決。と。將。意。長

近ハ夏の種固アリ。と自軍伐制して退去人と指揮を傳ふる耳なり。一炮響音浦るとひらく。左右の伏兵發射。怒潮の軸を並べ傳へ喚叫で接起る。その正斜に六加度。福徳片桐板垣須賀。堀尾可夫不常の別名士當るにまをせ。斬犯棚伏。夜又羅刹の横怒成す。まをせく際子一場を。紅蓮の像く血ふとあより。城名大不懐忙を。堀小勝を。退返を。伐將柴田任。指葉が門。一隊ありて盛返。崩山。沸海のさぬ。伐頭。城名伐中に推提綱。刺まをせ。改着る。若林父子安井保も。死力奮奮之。防戦ひ。圍を伐脱人と擡らひども。自軍とありひ。後援のさる。門控の一撥まで。款とあり。翻て突犯る。由急。親房再び驚懼す。諸の郷民保も。愛んる。極家伐。款く。面憎や。怒罵する。伐所。奇兵此郷民。勢く。俺們を。り。門。郷民と。ありひ。る。こ。を。思。あ。色。織。田。家。此。天。也。

を知らざるかと。呼をり。報く。破て。遠れを。今ハの。ぐる。通。り。と。若林父子。安井保まで。ま。子。札。軍。に。敗。死。し。り。羽。柴。秀。右。統。軍。人。と。直。地。小。新。城。へ。推。進。る。り。城。中。に。殘。る。兵。卒。ハ。若。林。が。戦。死。と。听。り。り。も。進。軍。の。い。ま。ご。来。ぬ。さ。は。小。謀。伐。透。れ。く。落。後。なり。これに。より。て。秀。右。ハ。若。林。伐。初。め。敗。北。す。敵。の。救。か。よ。て。之。百。餘。級。活。提。五。百。有。餘。人。信。長。此。本。陣。へ。魄。遣。る。其。身。ハ。重。小。自。勢。伐。率。して。松。津。口。小。部。に。り。惟。任。禰。嘉。山。保。保。ハ。木。芽。嶺。陣。伏。へ。推。進。り。秀。右。ハ。既。小。自。軍。の。奇。兵。一。撥。と。あり。て。款。を。款。さ。首。尾。り。獲。利。を。得。たり。し。也。敵。の。如。く。秀。長。保。に。加。度。福。徳。根。坂。堀。尾。の。四。勇。士。伐。増。加。へ。其。の。勢。又。百。有。餘。人。ま。百。姓。に。お。扮。せ。陣。民。一。撥。の。陣。小。り。せ。り。道。伐。轉。して。松。津。口。の。背。門。の。承。へ。當。向。つ。大。將。羽。柴。秀。右。ハ。殘。る。一。千。七。百。餘。人。士。伐。率。し。柴。田。務。家。此。隊。



堀景忠  
圓光寺  
北平  
柴田の陣  
参る

へ移る。然やど小修理之進務家ハ十四日の黄昏より。枚津の城小  
向ひたるが。不知案内ふちあらいの城攻伐しろやぶ。夜分ハ又ハと先案案頻せんあんまひんに諫めける  
により。約征やくせいせんと軍議ぐんぎを定め。曉あける夜漢やまくありたるが。這一城ハ  
城前のしろまへ。喉咽のどぐちとつ絶たぎたされむ。大塩おおしおの圓光寺えんこうじ。房主ぶどうされども軍慮ぐんりょ  
に賢うく。制せいや勇猛ゆうまうありけむ。軍配ぐんぱいするどく指揮し成なりるは遠城えんじやう中  
小疑こぎちりし武士ぶし小振こぶり江中勢えちゅうせい並系忠ならひなといふ。系朝けいあさ舎しやの勇ゆう長ちやうなり  
が。義系ぎけいを恨うらむ謀叛むべんして。遂つひ小加州こかしうへ逃にげ出でされ。然しかして遠城えんじやうハ加かりし  
に。近頃ちかごろ系光寺けいこうじと不快ふくわいたる由よし。密ひそ小謀こぼう謀ぼう多く信長のぶながへ降参かうさんせり。汝  
通とほたり。大塩おおしおこれを暗くらに察知さつちし。城中じやうちゆうに色いろバ又また切りあんと城外じやうがい小柵せき  
を搦らさせ。系忠けいちゆうあへび小随従せうずいじゆうせる。神波かみなみ七玄湯しちげんとう。三圍さんゐ系女けいめに前面ぜんめんハ柵せき  
成なりちりせり。由よし。系忠けいちゆう備ひへと圓光寺えんこうじが。察さつせり。遠城えんじやう見みく執とて。並地ならちに

柴田しばた陣ぢんにちもむき。信長のぶながへ降参かうさんせり。とる小治こぢ務家むけこれを解隊かいたいと  
ふ。十五日ごじふにち未明みめいより。息也いきやも継つせに改かたりし如ごとも。名なに負お大塩おおしお圓光  
寺じ。諸隊しよたいにきびしく指揮しをなして。炮矢はうやを飛とせんと。兩軍りやうぐん寸分すんぶんの隙ひま際ま  
も何なにもせされむ。大塩おおしお信長のぶながふあふと。給たまふと。要時ようじがわら  
城しろを睨にらんで勅しつたり。浩こうふ。不ふへ將しやう柴しばた秀しゆ吉きち。一ひと子こ餘よ務むに。地ち味あじ。柴田しばた勝  
家かたに對面たいめんして。河野かしの為城ためじやうの軍攻ぐんこうつひ。惟任これとう。播磨はりま友人ともだちハ本ほん茂も。拜まが伏ふ  
へ向むかふ。君命きみめいによりて。小治こぢハ當城あたらし攻こうの加勢かせいたるが。命めい属ぞくられ  
る小治こぢより。向むかふ。車くるま互たがひふ。君きみの所為しよゐあり。小治こぢ預よて。小治こぢ  
舟ふねも少せうく。准備じゆんびしたむ。背門せいもんの方かたに推おし。攻こうり。嚴げんく。攻こうり。拜まが伏ふ  
に。然しかされ。城兵じやうへい大軍たいぐんハ背門せいもんの方かたへま。其その時とき。門かどを烈はげしく攻こうめ  
る。一時いつじ小破せる。と。東あづま小治こぢ務家むけ。心こころして。遠義えんぎに同どうたり。とる。

里。秀吉飲び自勢伐率て。背門の方伐改起る。禰て羽柴が計設け  
 一揆打粉の道なき。九字の名号を記せし。旗伐正魁に立て五百  
 餘人背門進兵のうしより。癩を帯たる狂猪のどく。あつても晒  
 らせ突蒐るふ。羽柴の兵士發砲躡りにありて崩る伐。一揆打粉の  
 兵士輩進兵を左右に追散す。背門の風岡小進之侍。これいかなる  
 下妻法橋の津持にあり。門徒の兵衆。當城の加勢に來りしよ  
 と。呼するうちに又後より進兵返して推搦稠る伐。一揆あつたに把  
 へ返す。戦ふ伐見よ。城中にも。遠隊をもち坂井圖書はくぐ思  
 慮をめぐらふ。郷民密に相遠おけしを。風岡推搦て寢けしを  
 羽柴秀吉密に伏び。又手こを謀略當りたる。快攻起ると千餘人  
 の勇兵喊をはくろり号銃をつるふけ。軍驛急に推搦けしを。城中不

の裏事小恐怖し。本願西倒るる。兵士伐片端より破て旋轉ひか  
 ぶ。羽柴虎之助。激奮一躍するよと見えし。背門の守將坂井書  
 を唯一獨り搦殺す。その圖小糸と南西に東あめささんで血戦し  
 けれを城なきの之所なく。逃原る不見へ。樹葉の霜風ふおる。像く  
 枯草の硝火に焼る。像く。面門の方小これ伐所。徳家諸勢を烈  
 ちりて懸伐もほせせ。改起る。大將圓光寺遠隊にありて。さびしく  
 拒抗在るを。ろに背門忽地噪動して。款無城中に投たりし。かば。赤光  
 寺大下憐を。惶忙たる伐見て。又手ハ城中。美心ハ。赤光寺と  
 呼する。佐久間玄蕃。柴田修實。寺。倭射也とも突とも。殊とも。せは  
 堪ふ。把着。詭揚。一喬。騎よと。みれり。け。れ。投く。彼方を。見え。城。中。に  
 ちや。秀吉が。又。是れ。吹。貫。飄。の。軋。慄。と。然。と。推。標。て。十。分。に。款。を





佐久間玄蕃  
 面門の一番  
 騎をて守將  
 圓光寺を  
 突殺す



遊崩し。捷獲たるそのとを後。柴田が軍勢礼入して。敢隊一時に樓記  
 たるゆゑ。方僅の城も一個も残さず。滿城の流血さるがらに。梓も深ふ  
 たるあり。大將勇亮も一方に決死。遂に出人とあり。たるを佐久間  
 盛政蹟。遂果ひ。唯一段に斬る。務家遠胸を。既子。城中。投来  
 里。我約期たる。城改を。羽柴が。奇計に。改築され。最朽。城秀吉  
 むろい。いふ。を。其謀計。我に。告ぬ。と。替め。たる。代。筑前。吉元  
 と。笑ひ。謀計。ハ。唯。秘密。を。り。て。も。と。ま。あ。も。若。ま。わ。せ。ん。那。我  
 場。小。粉。骨。ま。る。も。互。小。君。の。と。あ。る。り。の。代。是。下。に。も。河。を。我。小。も  
 あ。是。速。く。款。城。を。陷。ま。そ。も。是。誠。信。の。忠。義。を。れ。中。小。も。是。下。の。之  
 士。達。齊。力。城。場。一。七。面。門。を。破。城。將。圓。光。寺。を。毀。ま。し。由。是。當。城  
 頓。に。落。去。せ。り。是。會。是。下。に。我。功。あ。る。代。その。地。を。奉。と。ん。と。て。謀

里一ののとおがさるる。草に征伐の事。代の之。簡要と。したる。なれ  
 を。斬。意。に。け。る。ふ。る。且。又。當。城。落。去。の。り。代。諸。方。の。一。揆。軍。に。お。せ。ん  
 とも。燒。起。玉。と。京。と。る。に。也。嫉。妬。の。柴。田。も。秀。右。が。辭。讓。の。詞。ふ  
 堪。入。と。暮。び。い。る。と。い。ふ。相。を。く。別。地。羽。柴。が。若。る。に。信。せ。諸。勢。ふ。令。して  
 城。口。ふ。火。放。放。さ。せ。く。燒。起。た。れ。ば。案。に。遠。を。ん。諸。方。の。款。兵。松。津  
 為。城。の。火。の。發。に。驚。た。過。半。ハ。城。を。開。選。て。四。方。八。隅。ハ。放。走。し。轟  
 る。凶。徒。一。個。も。あ。り。然。か。ど。小。惟。任。日。向。守。福。系。修。禿。入。道。山。傍。源。左。左  
 邊。の。御。ハ。河。野。を。出。て。幕。地。小。池。本。芽。火。打。ハ。推。進。せ。く。猛。威。を。あ  
 たる。盛。あり。諸。も。大。打。の。城。中。に。ハ。和。田。の。本。覺。寺。石。田。の。西。光。寺。之。子  
 人。に。く。凝。ち。たる。が。河。野。の。新。城。落。去。と。所。傳。さ。る。り。防。我。の。准。後。の  
 あり。たる。か。ど。さ。入。河。を。松。津。口。の。火。の。發。を。と。り。方。僅。い。い。る。り。場。を。

記。慌忙を逃出する。日向守一徹、傷小重とて改記す。當城をも燒  
 起て、落城を知りて、さしぬ。此地小鉢伏一推進たり。遠に、松浦臺は  
 二千餘騎に、軍城せり。が、河野松津の落去、小鷲に、進出のいま、ど  
 らぬ陸に、城を棄てて、逃去る。惟任、稻葉、依力、茂、芳、せ、二の城を隔  
 し、たれば、勢威竹を破が、像く。府中、茂當、進發に、柴田、羽柴、も、松津に  
 より、直地に、府中へ、推通る。小、遠道、條、川、用として、款一人も、あらず、されば  
 事あり、府中へ、着陣あり。惟任、稻葉、依力、と、合隊あり。龍門寺の城  
 を、攻起す。遠に、川之宅、權之丞、小、勢、あり、が、も、名、茂、惜、進、出、の、大、軍、隊  
 を、迎、け、暫く、防、戦、せ、り、と、も、進、兵、の、名、に、帯、織、田、家、の、名、士、勝、騎  
 たる、八、千、餘、騎、万、虎、頭、の、山、を、崩、し、千、餘、騎、の、海、を、卷、い、さ、り、ひ、ら、く、も  
 猛烈、な、れ、を、率、て、軍、城、踏、ま、し、進、出、一、同、に、騎、投、た、る、由、急、之、宅、も、礼

軍に、戦、死、せ、り。織、田、家、の、諸、將、悦、驥、之、使、士、派、馳、て、遠、部、を、馳、騁、の  
 陣、陣、へ、入、り、た、る、小、七、佐、長、渡、り、あ、く、快、悦、し、ま、ひ、十、万、餘、騎、比、總、勢  
 派、率、俱、一、同、ト、く、十、七、日、に、府、中、へ、着、陣、し、龍、門、寺、の、城、へ、沖、入、り、  
 沖、指、揮、さ、し、び、く、洶、々、と、石、山、一、揆、を、悉、く、并、殺、盡、し、と、あ、り、た、る  
 浪、羽、柴、秀、右、諫、言、ま、さ、く、沖、横、へ、理、を、か、り、款、徳、房、主、郷、民、を、殺  
 百万、人、殺、し、た、り、と、も、益、益、の、事、に、い、ま、ん、石、山、門、徒、の、あ、る、事、へ、當、國  
 を、う、り、ふ、い、ら、さ、す、び、六、十、餘、州、に、さ、び、こ、り、て、宗、首、れ、あ、ふ、ん、命、を、惜  
 ま、ぬ、族、あ、る、の、以、郷、民、あ、り、と、悔、り、ゆ、ふ、當、國、の、門、徒、を、誅、し、た、り  
 と、も、是、九、半、が、一、毛、に、く、本、願、寺、宗、の、滅、亡、も、あ、り、也、此、事、諸、國、へ、聞、え  
 る、を、同、宗、の、族、却、く、君、を、恨、ま、ま、ゆ、也、哭、を、あ、さ、ん、も、量、を、さ、す、一、珠、を、  
 加、州、へ、一、揆、の、根、を、れ、當、國、の、輩、派、さ、び、く、誅、さ、す、加、州、の、門、徒、も、あ、の、が

身の適をねふと察知あり心成合せし防戦を慮し。然る病ハ今或に加別  
漢平鎮の事也。唯當國の一揆案の逃ることあり。然る老人女見  
を助長し。心。歎泣をうり。保し。加別へ逃行軍も。父母妻子の  
情ふ。心。され。遂小降。後。の心。成。生。ト。加。別。征。伐。の。一。冊。と。あ。る。人。是。ぞ。一。仁  
大。歌。を。挽。ぐ。づ。計。策。あり。帰。ふ。所。賢。慮。を。あ。ぐ。され。と。保。め。を。信。長  
奉。願。寺。汝。悟。ま。る。事。骨。髓。に。徹。し。の。ふ。由。是。羽。柴。が。諫。言。あり。と。し  
とも。更。に。これ。汝。謀。ひ。玉。を。断。る。氣。成。汝。殺。さん。を。何。の。用。捨。が。あ。る  
に。ぞ。仁。も。情。も。東。西。に。る。向。後。の。見。懲。目。當。次。才。慶。に。い。く。ま。一。用。捨  
ハ。却。く。不。忠。あり。と。憤。怒。え。び。く。沖。指。揮。ある。これ。より。て。秀。吉。も。慕。び。保。む  
ること。終。つ。る。密。に。嘆。し。て。指。揮。に。七。属。する  
凶徒悉滅令戮示凱樂回属共國政事

凶徒悉滅令戮示凱樂回属共國政事

高祖三章の法あり。大赦これに過たるハあり。固く四百年の天下汝れ  
り。然る不。信。長。命。令。ま。る。く。城。前。の。國。に。一。向。門。徒。を。信。長。と。も。小  
一個も。城。を。破。る。慶。殺。せ。し。この。指。揮。小。隨。ひ。諸。將。數。方。に。分。給。し。て。為。方。ハ  
城。智。山。山。庄。原。流。の。色。ま。せ。ハ。原。田。保。中。守。不。破。河。内。守。依。久。向。基。九。弟  
安。後。修。賀。吉。基。國。名。庫。助。殿。二。方。餘。騎。小。之。攻。着。れ。た。中。衛。道。ハ。柴。田  
秀。家。羽。柴。秀。吉。推。任。光。秀。丹。羽。長。秀。稻。葉。一。徹。汝。保。二。方。又。子。ま  
づ。足。羽。の。城。を。攻。陥。し。それ。より。九。頭。龍。船。橋。表。回。長。清。令。津。ま。せ。も  
一。揆。の。郷。民。を。斬。弄。に。して。五。二。五。三。に。推。通。す。ま。る。大。野。野。宅。食。三。保。河  
内。の。邊。ハ。茶。田。又。左。邊。保。内。義。助。津。川。左。邊。保。監。成。田。宗。右。邊。保。二。方  
餘。人。後。陣。と。して。八。千。餘。兵。八。原。原。田。保。一。方。又。千。餘。兵。十。方。有。餘  
人。口。方。に。日。か。き。て。推。極。く。城。壘。寨。堡。汝。攻。陥。し。一。揆。案。の。家。々。を。燒。き

光幼男女の差別なく。敵軍と見てやむを同當次第に掩殺す  
 山林幽谷泉隈本陣解源ふともかく成。貪慾く穿鑿出して五十  
 二十倍々縛連る。或ハ捷殺し或ハ燒殺し。磔くして懸行など  
 道途ハ骸不埋りれて多くもつんえたりたり。そのかゝる寺院房舎  
 ともども高家農宅のころあく。壁の底を拂ふが如く。根も葉も巧して  
 滅亡したる。これを見聞する人ハ歎も自軍も恐怖したり十音よ  
 其廿五日まで。その際より旬のうちに。毆捉下の敵數ハ宗徒此房主  
 七百餘級一揆郷民一万二千有餘級。そのかゝる斬弃する老幼男女に  
 ついては。幾方とも善へざり。信長此律を評覽あり。愴快氣  
 に感懐しむ。同く廿八日。一系若安養寺一本陣成移され。猶も  
 指揮して先陣成進めたる由急。柴田。羽柴。惟任。稻葉。戸次。長岡。依

連地小池で金屋。細呂本より。加判の境小礼入。終天に派敵を攻取  
 て。こゝろを自軍ハ地とし。猶攻入らんと進み。其時。柴秀吉理  
 を受けて。衆軍を制し止れども。衆將の心區くされは。はた大將ハ指揮  
 小愈し進退さぶ。と光秀をりて。津本陣へ進退の言成伺ふ。む  
 日向守ハ飛が如く。一系若安養寺ハ津本陣小破冬。進退の理を言状して  
 遠遭ハまじ。津本陣ありて。然る。とまう。以小。信長遠義。同くまひ  
 津還軍。むひに定めたる。然らば。加判の圍境。小要害の地。成捕ふ。一  
 とく。加判のうち。津波。大聖寺。城。墨成。楯。戸次右近。大將。うて  
 依。く。檀。石。津。の。中。勢。懸。馬。込。右。衛。門。の。傳。を。り。く。相。守。を。死。命。屬  
 らる。これ。より。て。光。秀。ハ。若。比。加。判。へ。取。返。し。諸。將。を。令。り。て。信。長  
 の。誕。意。成。演。く。大。聖。寺。に。戸。次。右。近。を。留。置。各。く。敵。軍。小。隔。陣。を

一、家臣小相集る。然るに若の安養寺に門徒一揆の寺あり  
 ごとく。伽蘭成悉く焼拂ひ。九月三日水の庄足羽山お浄陣を  
 掃らる。遠地より當國の政事等一々命喋らる。抑紙の形  
 へ水陸道の總冠にして。大切の地あるをごとく。柴田勝家に賤安れ  
 國の藩鎮に補任せらる。其中執事此一郡ハ武藤惣右衛門に賜り。大  
 野那此三分一を原左衛門に賜り。その三分二は金森五郎八  
 幡里と。これ後柴田の賜とせらる。備又府中の城も十方石の地を  
 添く。前田又左衛門佐久内義助不被彦三に賤賜り。是後府中  
 の三人衆とす。柴田が目録も相割らる。北の庄の要産に居城を  
 結ぶ。これ小左衛門に。城前此國ハいふよ。小七郎の總職  
 を柴田に命ぜられ。後家の威勢諸人小延色。一驗に織田

殿の股肱たる。隨一の長とぞ見えたり。其外當國の行政事  
 成。残る方多く命喋られ。同トく九月廿三日。水の庄を浄陣  
 里と。廿六日の申抄ころ。濃別伎阜へ浄陣城あり。

繪本豊後守勲功記四編卷之六終

